

秋田県立大学 図書館だより



No. 11 2005.7

》》》》》》》》》 目次 《《《《《《《《《

私の計算機遍歴 1 —原始時代—	
図書・情報センター長 小川 淳二	1
図書館の現況 / 寄贈資料紹介	3
資料探索法：人物情報の調べ方	4
17年度新入生オリエンテーションの報告 / 新規購読雑誌のお知らせ	5
図書リクエストについて / 利用案内	6



私の計算機遍歴 1 —原始時代—

図書・情報センター長 小川 淳二

(システム科学技術学部建築環境システム学科教授)

三代目センター長（落語にあります三代目の様に身代を潰すほどの器用さはありませんが…）に就任致しましたら、すかさず、図書館だより11号の巻頭言を書くことを命令されてしまいました。そこで、1号から10号までを調べて頂き調べてみたら全ての巻頭言が、書籍や図書館についてでありました。ここらで情報関連の巻頭言があっても良かろうと思われまして、また、私どもの年代が、計算機変革の第一線を経験したと言うよりも、経験させられたと思っておりますので、私が経験しました計算機遍歴について書くことに致しました。

私共が一番最初に体験しました計算機は、ソロバン（算盤）でしょう…ソロバンは、古くエジプト時代から存続している原始的なディジタ

ル計算機ですが…私の場合は、小学校時代に多少練習した程度ですから加減算をゆっくりとしかこなせないうえ、間違いを多発するものですから実用にはなりません。達人は、四則演算を良くこなし、電卓の達人たちとの競争に勝つと聞いております。このソロバンにもいろいろな変化がありました。4ッ玉ソロバン、5ッ玉ソロバン、位取り3桁ソロバン、4桁ソロバンや中国などで使用されていた5の玉が二個ある算盤（1980年頃バンコックで華僑系の方々の中には使用している方もおりました、バンコックに有りますアジア工科大学院大学へ2年間赴任中に経験）など多種多様です。現在の日本では、3桁位取り4ッ玉ソロバンが標準であろうと思います。近年、隣国の韓国では、ソロバ

ンが知能の発達に大変有効であるとして、算盤塾が大いに流行っていると聞いております。

2番目に体験しました計算機は、計算尺です。計算尺は、乗除算、開平・開立や三角関数などの計算用ですが、兄たちの影響でしょうか中学の終わり頃から使い始め、高校時代には物理や化学の計算問題などで実用にしておりました。大学の学部時代でも材料学演習や構造学演習での計算に使用しておりました。

日産自動車が、初代ブルーバードを発表した頃ですが「第1回全国学生自動車ラリー」を開催し、大学自動車連盟加盟の自動車部に担当区間を割り当てて、ブルーバードの新車40台位を連ね全国を一周した事があります。東北大学自動車部は、東北学院大学自動車部と共に福岡から名古屋までの区間を担当しました。メーカーによる実走行データ収集のためであったと思われませんが、大勢の技術スタッフが同行していて、一日の走行終了時に、車輛の不具合などを報告しますと、オンボロ部車のように自分たちでスペアやドライバーを握る事なしに翌朝にはタイヤの空気圧まで揃えた完全整備の車輛で出発出来るというサポートをして頂きました。車輛関係は完璧だったのですが…ラリー用の計算道具に問題がありました。他の車輛では、ラリー用の計算道具としてタイガー計算機(後述)を使用しておりましたが、我がチームは、タイガー計算機など高級な道具は調達出来なかったものですから、仕方なく計算尺で参加し大いに驚かれ、笑われもしました。これが計算尺で経験した唯一マイナスの思い出と成っております。しかし、ラリー参加記念で頂いた「第一回全国学生自動車ラリー」銘入りブリキの初代ブルーバードが、未だに手元に残っております。

大学院時代にも、計算尺は鉄筋コンクリート試験体や実建築物の構造計算で大変に便利でした。後者の場合には、大変高効率なアルバイトとなり、結構良い収入にありついておりました。この計算尺の経験が、後日、サンチャゴ(チリ・カトリカ大学へ1年8ヶ月赴任中)で飛行機の操縦訓練を受けたときに、大いに役に立つこととなりました。ある時、飛行訓練学校で中古の飛行用円形計算盤の購入を勧められました。その一方で、日本の電卓メーカーから発売されている飛行専用電卓も勧められましたが、非常に高価でありましたし、また、計算尺を使うこと

に慣れていましたから円形計算盤を購入しました。円形計算盤の裏には対地飛行速度計算盤があり、表には単位変換、到着予想時間や燃料消費量など飛行に必要な殆どの計算が可能な目盛りがあり大変便利でした。ほとんど説明も受けずに計算機能は使えたので、インストラクターが大いに驚いていました。

3番目に体験しました計算機は、タイガー計算機です。これは商品名ですが、それがそのまま普通名詞の様に使われていて、何方も機械歯車式加減乗除算用手回計算機とは呼んだ事はなかったのではないかと思います。(祖先は、パスカルの発明になる機械歯車式加減算機、後にライプニッツが加減乗除算用に改良)卒業研修で建築構造講座に所属したものですから、タイガー計算機で多種多量の計算をこなしました。博士論文の手伝いでねじれ振動解析のため三次方程式の解(有効桁数6-7)を数百組求めたり、開平・開立なども含む多くの計算を行いました。ハンドルの早さを競ったりと遊びの道具にもしておりました。ある時、立体トラスを解析するために、13元連立1次方程式を解くことになりました。先生が、発足間もない東北大学大型計算機センターに相談されたのですが、「8元連立までしか解いた経験がなく、プログラミングに一週間はかかり、結果は保証しない」とのことで断られてしまいました。仕方なくタイガー計算機で有効桁数を出来るだけ取りながら解くこととなりました。研修生二人で同じ演算をやり、ステップ毎に読み合わせ確認しながら試行錯誤を重ね一週間強で解き終わりました。ご褒美のビールが美味しかった事…

次は、電子計算機の時代になります。東北大学大型計算機センター主催の「フォートラン・プログラミング講習会」に参加して、簡単なプログラムで計算結果を打ち出させる事まではやりましたが、プログラミングミス、パンチミスなどでなかなか結果にたどり着きません、その上ターンアラウンド時間が長く、一週間以上も掛かることもありましたので簡単な計算では実用になりませんでした。電子計算機の本格的な利用は大分遅れて始まる事になります。

計算機遍歴の原始時代だけで制限字数に到達してしまいました。もし、次のチャンスがあれば「アナログコンピューター・卓上電子計算機以降の部」もご紹介したいと思います。

資料探索法……………人物情報の調べ方

調べたい事があっても、どの本を見たらよいかわからない…ということはありませんか？本学の図書館にある資料でも色々なことがわかります。今回は人物情報を調べる際に役立つ図書館資料を紹介します。（書名の後に所蔵しているキャンパス名と請求記号が記載されています）

- (1) 有名な人物の氏名や生没年等の情報を調べる時は、人名事典が便利です。
岩波—ケンブリッジ世界人名事典（岩波書店 1997）秋田・本荘 280.33:C94
日本人名大辞典（講談社 2001）本荘 281.033:Ko19
西洋人物レファレンス事典 1—3（日外アソシエーツ 1999）→他にどんな人名事典に記載があるか紹介されています。 秋田・本荘 283.033:N71
人物レファレンス事典 古代・中世・近世編、現代編（日外アソシエーツ）本荘 281.033:N71
- (2) 現在活躍中の人物の略歴などをより詳しく調べたい時は、次のような資料があります。
人事興信録第40版（興信データ社 1999）→国内各界の主要人物について掲載。秋田・本荘 281.035:Ko86:40
読売年鑑 分野別人名録（読売新聞社）本荘 059.1:Y81
秋田県人物・人材情報リスト2002（日外アソシエーツ 2002）秋田・本荘 281.24:N71:2002
- (3) 機関や法人の職員名・役職を調べたい時
全国大学職員録（廣潤社）秋田・本荘 377.035:Ko39
全国短大・高専職員録（廣潤社）秋田・本荘 377.035:Ko39
職員録（財務省印刷局）→中央官庁や法人の他、各自治体の管理職までを掲載している。 秋田・本荘 280.36:Sh96
- (4) 研究者の情報を調べたい時
大学院研究者名鑑'96—'97（丸善 1996）本荘 377.13:D16:1996
研究者・研究課題総覧1996 I～IX（紀伊國屋書店 1997）本荘 377.13:D58:1996
科学者人名辞典（丸善 1997）秋田・本荘 403.3:D25
現代日本科学技術者大事典 5分冊（日外アソシエーツ 1986）秋田・本荘 403.5:N71
※他に Web 上のデータベースとして科学技術振興事業団（JST）の「ReaD（研究開発支援総合ディレクトリ <http://read.jst.go.jp/>）が役に立ちます。
- (5) 海外の人名録
Who's Who in the World 16th Edition（Marquis Who's Who 1999）本荘 280.33:W69:1999
現代外国人名録2000（日外アソシエーツ 2000）本荘・秋田 280.3:N71



17年度新入生オリエンテーションの報告

4月上旬に学部新入生を対象とした図書館オリエンテーションを秋田・本荘キャンパスにおいて開催し、両キャンパス合わせて約180名が参加しました。図書館運営委員の先生から学生生活における図書館の役割についてお話をいただいた後、職員が図書館利用法の説明や館内設備の案内を行いました。新入生の皆さんの図書館活用のきっかけにできれば嬉しく思います。また、ご協力いただいた先生方にもこの場を借りて感謝申し上げます。



秋田キャンパス図書館で説明を聞く参加者

◎新規購読雑誌のお知らせ

2005年より以下の雑誌の購読を開始しました。バックナンバーを既に所蔵している雑誌もあります。雑誌ごとの所蔵状況についてはOPACで検索するか、図書館カウンターへお問い合わせ下さい。

タイトル	開始時期	キャンパス
図書新聞	1月	秋田・本荘
技術と人間	1月	秋田・本荘
子ども英語	1月	秋田・本荘
TOEIC Test プラス・マガジン	1月	秋田・本荘
AERA	1月	秋田・本荘
論座	1月	秋田・本荘
週刊朝日	1月	秋田・本荘
週刊金曜日	1月	秋田・本荘
週刊エコノミスト	1月	秋田・本荘
安心	1月	秋田・本荘
健康	1月	秋田・本荘
自然保護	4月	秋田
農林水産技術研究ジャーナル	4月	秋田
Language Learning	1月	秋田・本荘
Studies in Second Language Acquisition	1月	秋田・本荘
Journal of Materials Science:Materials in Engineering	1月	本荘

知っていますか？

図書リクエストについて

図書館では、学生の皆さんから図書購入のリクエストを受け付けています。ご希望の方は、カウンターにある「リクエスト受付票」を記入して提出して下さい。リクエストのあった図書は、各キャンパスの図書館運営委員会で検討し購入を決定します。

リクエストに関する注意事項

- 受付できるのは図書のみです。(雑誌・新聞など長期に渡って購入しなければならないものは受け付けられません。)
- 授業の教科書・参考図書に指定されている図書は受け付けられません。
- 購入に時間がかかる場合があります。至急必要な図書の場合は他大学からの借受や複写の取り寄せ等も可能です。カウンターの職員へご相談下さい。

※リクエストする前に、本学で所蔵していないか図書館のOPACで検索してみましょう。

利用案内

夏季休業期間は8/1(月)～9/30(金)です。
期間中は開館時間および学生、院生への貸出冊数に変更となります。

	貸出冊数		貸出期間		
	通常期	休業期間中	図書/音声資料	逐次刊行物	逐次刊行物(最新号)
学 生	5冊まで	10冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
院 生	10冊まで	15冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
教 職 員	15冊まで	15冊まで	1ヶ月以内	1週間以内	1日以内

* 学生・院生は、7月15日(金)～9月23日(金)に貸出した図書、音声資料の返却期限日が10月7日(金)となります。

【開館時間】

- 平日 7月 9:00～19:00 19:00～22:00(無人開館)
8～9月 9:00～17:00 17:00～22:00(無人開館)
- 土日祝日 7月 9:00～19:00(無人開館)
8～9月 9:00～17:00(無人開館)

* 8月31日(水)は館内整理日のため、9:00～17:00閉館、17:00～22:00無人開館いたします。

秋田県立大学 図書館だより No.11 2005年7月発行

秋田県立大学 図書・情報センター <http://www.akita-pu.ac.jp/library/lib.html>

●秋田キャンパス

〒010-0195

秋田市下新城中野字街道端西241-7

TEL 018-872-1561 FAX 018-872-1674

E-mail: a_library@akita-pu.ac.jp

●本荘キャンパス

〒015-0055

由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2049 FAX 0184-27-2185

E-mail: h_library@akita-pu.ac.jp

※ご意見・ご要望等をお寄せください。